

開拓の歴史を訪ねる旅 姉妹町・津野町を訪問

開基120年記念事業の一環で、「開拓の歴史を訪ねる旅」として、町民訪問団38人が、姉妹町である高知県・津野町などを11月18日から21日まで訪問しました。参加者からは「行く先すべてが初めてでも感動しました。どの訪問先でも温かく歓迎してくれて良かったです。津野町の皆さんの温かさを感じました」「姉妹町のつながりの中で、個人では味わえなかったことを体験することができ、うれしかったです。両町の友好の深さに感心しました。これからも絶やさず継続してほしい」など、津野町の歴史と人の触れ合いを満喫できたとの感想が多く寄せられました。



高知城



吉村虎太郎邸



セラピーロード



カルスト学習館



津野山古式神楽



満天の星加工所



くちめがいち
口目々市古民家集落



桂浜



貝の川棚田

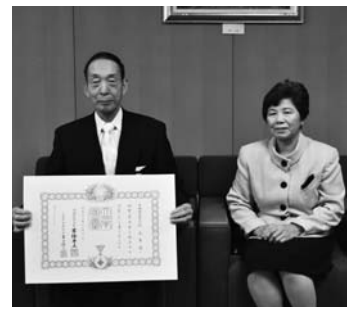


津野町郷土資料館

武永さんに叙勲の伝達

長きにわたり、消防団員として町に貢献し、平成28年秋の叙勲で瑞宝単光章（消防功労）を受章した、元訓子府消防団の副団長、武永重道さん（元町）への叙勲伝達式が、昨年12月2日に行われました。

武永さんは「訓練など大変でしたが、連合演習などに参加したり、水害で土のうを積んだり、いろいろな思い出があります。消防団に入って、火災は予防することが大切ということを学びました」と51年間にわたる消防団活動を振り返りながら話していました。



ご寄付ありがとうございます

久島工業(株)様から200万円 教育施設整備に

久島工業(株)様から、昨年12月14日に200万円の寄付を受けました。久島代表取締役は「開基120年記念と同社が設立90年を過ぎたことを記念して、教育施設整備に役立てていただきたい」と話していました。寄付金は、教育施設整備として社会資本整備基金に積み立てる予定です。



訓子府町4Hクラブ 青年農業者大会で最優秀賞を受賞

平成28年度オホーツク総合振興局管内青年農業者大会が、昨年12月13日に北見市で行われ、訓子府町4Hクラブ（毛房幸智会長）が参加しました。

この大会は、農業の担い手として、営農や生活の改善に努力している農村青少年が日ごろの実践活動を通じて習得した技術を互いに発表し、直面する問題の解決方法や発展方向を見出すことにより、今後の農業・農村の振興に資することを目的に毎年、開催されています。

今回、4Hクラブはアグリメッセージの部とプロジェクト発表の部に参加し、最優秀賞を受賞。全道大会への切符を手に入れました。

アグリメッセージの部では、会員である平田翔唯さん（清住）が「恩返しと喜び」と題し、農業を仕事に選んだきっかけや両親への思いなどを発表しました。プロジェクト発表の部では、土壌凍結を促進させるため、どのくらい凍結したかを確認できるように凍結管を作ったことを発表し、評価されました。全道大会は、1月25日・26日に札幌市で開かれます。

